

## (株)苫東 第 21 回経営諮問委員会の概要

- 1 日 時 平成 29 年 5 月 22 日(月) 13:00~14:20
- 2 場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 3 階「平安の間」
- 3 出席者 9 名(全員)
- 4 議 題 ・委員長代理の選出
  - ・最近の主な動き
  - ・平成 28 年度経営概況について
  - ・第 6 次中期目標達成状況(案)と第 7 次中期目標(案)
  - ・平成 29 年度事業計画等について

### 5 委員からの主な意見

- 食関連産業の集積に向け、苫小牧国際コンテナターミナル背後地に新しい民間のプロジェクトなどの誘致を進めてもらいたい。
- 自動運転技術の実用化は、地域課題への貢献となることから、ぜひ雇用創出となるような寒冷地向けの自動運転テストコース・センターの誘致を進めてほしい。
- 食関連倉庫や食品加工など食関連産業の集積に努めるとともに、北海道の食の拠点として、苫東に物流機能のハブ化を期待したい。
- 北海道は自然エネルギーの宝庫であり、苫東地区が水素エネルギーの拠点としての役割を果たすよう期待したい。
- 食関連産業の集積に関して、北海道が担う食材の供給基地が需要サイドと連動することにより食そのものを強くすることができる。例えば、広島モデルのように地域の食のシステム全体を再構築したプロジェクト事例は、苫東のフードコンプレックスを生かす大きなポイントとなる。
- 地元アカデミズムとの連携により、産業ツーリズムに訴えられるような、シンボリックなプロジェクトを構想していくことが、次のステージに大事である。
- これまでの再生可能エネルギーによる電源供給プロジェクトの立地を踏まえ、次はデータセンターやビッグデータプロジェクトなどの誘致を目指し、寒冷地産業の成功モデルを期待したい。
- 土地利用について、柔軟な発想で取り組んだことは評価できる。今後は、会社の長期的あり方について示していく必要がある。

以上